

八  
又ト又迴叢

第14690号  
BRUGRESSISTA REGISTRAÇÃO N.º 3695  
昭和五十年  
十一月廿四日  
月旺日發行  
Diretor  
Koiti Mori  
Redator  
Sho no  
Miyatake  
Rua 10 de  
Novembro 882  
C.Post. 112  
Fone 340  
BASTOS  
E.S.P.  
Anual  
Cr. #  
65.00  
Adiant.

だらしないこと

エルメルカート

○先日ある雑誌を見ていたところ、「サテリ  
マンの女房が高利貸の金を借りて、元利合計  
二百万円にふくれ上り、とても支払えぬから  
亭主によろしく頼むと書置きして蒸発してし  
まつた話がのつていた。どうしてそんな借金  
を背負い込んだのか、と云うと女房どの、あ

内外雜貨、飲料料、水道用具  
電氣用品、陶磁器、賄答品  
ユーリビンボストを店頭に備えて  
ありますから、御利用下さい。  
切手も用意してあります

内外雜貨、飲料料、水道用具  
電氣用品、陶磁器、賄答品  
ユーリビンボストを店頭に備えて  
ありますから、御利用下さい。  
切手も用意してあります

金融業者)の保証になつたところ、その知人が蒸発したしまつたので、借金をかぶつてしまい、他のサラ金から借りてうめ合わせた。その時友人に保証してもらつた。その代り、その友人の借金に喪書しなければならなかつた。そんなことをくり返していく内、複利計算で、二〇〇万円にふくれ上つてしまつたわけだ。サラリヤマン氏は月給十二万円だから、たとえ保証人だつたとしても、代償なんかできない。もちろん彼氏はハンコなど捺していなかつたから、横に寝てしまつただろうが、忽ち勤務先きの会社で評判となり、居たためぬ仕置と相成る。これは女房のふだらしという話である。

太郎田屋吉徳  
電話十六番

卷一

（関東の都市）あくた足利銀行の女工、行員すべではないが、少くとも美人ではない鞆子より込み、豪華な住宅に住み、女は、うちアさん。女たらしの阿部といういかさま野郎にてうつて落魄の末豚箱行きである。ともに一たぶらかされ、十数回にわたつて二億円とい生を棒にふつてしまつた話だが、あれといつう大金を吸いとられた事件。

（も）鞆かたりける、だらしなさである。

章子行員、銀行の貸付係という職権を悪用（）大学教授と女子大生のくされ語も「こんとし、うまいこと伝票を切つては、行金を引きこゑ、数々とある。中年の教授で、英語がペラだしたもののがだか、二年間そのからくりが判つペラだつたりすると、女子大生の方からころぬかつたこともしまりのない詰だが、いくうかりこんで行くケイスもあるが、時には宴会惚れた男のためとはいへ、勧め先きの行金をで酒がけいり、二次会まではよいとして、三ごまかし、男から結婚をもち込まれたのに目次会となり、梯子酒となり、どどのつまりはがくらんだとしても、だらしがないにも程が教授のアパートに弱れ込む。あとはどうなつたか判らない。強姦だ。いや和姦だと騒いだある。

銀行の金を盗むまかしめたがる女たちが、領を教唆させたのは男の方で、金の行く衛はの中である。こういふた話は日本だけのもの男の競馬クラブへ競馬情報馬券指導など)のだろうか、ブラジルでけさいたことのない話会計赤字完理と詐欺漢阿部の数人の女道楽とだか……。

派手な生活に浪費され、章子くんは自分の貯金追放りとられて赤裸になってしまい、おま○個人の話でなく、國の中でも、一体どうなけの果に監獄行というお土産だ。何ともはやつていて、と、わけのわからぬことをやつだらしのない話である。

○これより少し前賃銀銀行の使いこみ事件がなどは好例だろう。同じ内戦でもベトナムやあつた。こいつは又とこも行く大金で、九億カンボジヤカなどは、政権争奪という目標とか円というのだが、よくもこんな大金が金庫か人民解放とかの名目があり、一応共産化の目標が減って行くのが判らなかつたものだ。

これも一女子行員が詐欺師にあやつられて倒されて民主が勝つた内戦もあり、又、目下行金を引張り出したものが、男は競艇には攻撃中という国もある。イテオロギーの差が

高まつてくると、どうしても力づくで政権の手奪が起るのはやむを得ない。ブラジルの様にはしめかう。共産を締め出してしまって居ても徒党を組むことが出来ないから、内戦が起る

心配は先ずなさそうであるが、日本のように、共産党を政黨と認めてしる国では、彼らが政權を掌握する日が来なしと断言するわけにはいくまい。ポルトガルでも、イタリアでも、現在そのためごたつたが縛えない。

ろう。いずれは政治戦乱に拡大して行くだろうが、現時点ではキリスト教徒と回教徒のごたごたのようで、反政府的な色彩はないようだ。それなら現政府が何故こうした国内の騒乱を鎮圧しないのだろう。とりおさえら力がないというが、そんな、だらしのない政府があるだろつか。この争乱は六ヶ月も前からつづいているそんだが、初期のころ政府軍が鎮圧に出動したことがあるらしい。

ところかと云ひ乍れりか。成功せり。次第に一  
スカレートして、手がつけられぬ様になつてしまつ  
たというのだが、やはり押さええる力がなかつたので  
あらう。国威が全く失望してしまつたおうなものだ。

○最初はレバノン南部サイダ海岸地方で回教徒の漁師と、網元のキリスト教徒（多分イスラエル混血人？）とのケンカがもとで、大げさに云えば資本主義（右派）と労働階級（左派）の争議に発達していつたものであろう。

もともと地城的には、レバノンはイスラエルの北隣りに当る小国だが、昔はエタヤ国だつた筈で、ローマ帝国時代はエタヤ人が多数住居して、いたにちが

いなし、アラブ人と雜居しているうち、工外や色が  
衰え、アラブ色が濃くなつていつたものと思われる。  
争乱はサイダ海岸地帯から首都ベイルートに移り  
、ザーレン・トリボリ等の都市にまでひろがり、支

階級ヘキリスト教徒)と、労働階級(回教徒)の攻争に大きく發展し、流浪民族パレスチナ人かレバノン南部に多數住みついていて、ことあれかしと、ケリラ恨<sup>えみ</sup>生で、惱乱<sup>うらまき</sup>に一ト投かって、るともいわれ、

ゴラン高原にも東隣しているのでシリア人の介入も疑わしく、武器の方はフランス・ソ連・アメリカ方面から流入していろ模様で、毎日何十、何百と死傷者が出る。一方、シリア軍は、

者が隠出してしまふ。しかし、てきな都へハルーハルと  
の荒廢は慘憺たるもので、戰斗は次第に市の中心に  
及んで来たので、居留外国人は国外へ逃避してしま  
う。銀行商店は閉鎖してしまふ。日本人も商社マ  
ンや家族も大方逃げ去つてしまつたという。これら  
の日本人の中に、例の重光信子（赤軍指導官）も居  
る筈だが、彼女は現地人と一しょになつてゐるので  
、或は一方のリーダになつて活躍してゐるかも知れ

## 整体術とは

読んで字の如く、体を整える方法であります。頭のこと、べんから、足の爪先まで血の循環をよくする術であります。

○頭痛○のまい○たちくらみ○神経痛○リヨマチ○センソク○肩のこり○食欲不振○その他慢性症でお困りの方○血の循環からくる病気一切を全快します。お試しください。

ルアマレシャール フリマーノ 二四九三番

卷之三

RA BASTOS  
ORIMOTO & FILHOS  
ue de Caxias 524-F LTDN  
.171, Fone 29 BASTOS S.P.  
**生活安定に備えて果樹園道場を**  
果樹園成功の秘訣は苗木の良不による  
**バストス森元苗木本舗の苗**  
**優秀な苗木は農務省公認の**  
をお選び下さい  
セッソンを経回して、おりまから、よ  
ろしくお願ひ致します。  
果樹苗の外花木苗・庭園、垣根、鉢  
植用等一切。

FLO  
T. M.  
Rua Duq.  
C. Post  
バズトス  
森林元苗木本舗

ない。レバノンが内戦乃至内戦状態をつづけると、イスラエル・エジプト間の中東問題がいい具合に北

へずれた恰好である。レバノンみたいな国は独立国として扱うには、あまりにも、だらしのない国とか、いいようがない。

してバレスチナ、ゲリラの巣であるレバノン南部はしばしば改り込みをかけたのも、あきらかにレバノン政府を馬鹿にしていたものである。又レバノンとしても、兵備に走りから、イスラエルに馬鹿にされるのだといって、ソ連から武器購入を計ったこともあるが、こんな国民性では、とうてい外国と事を

構える資格はない。それどころか、火のついた台所を消す力もないとあつては、問題にならぬ。

○かりにこの内戦を鎮めるとしたら、国連が強力な兵力を派遣して武器を両派から取り上げるより方法はないだろう。今のところ疊間は双方とも屋内にひそみ、夜間通い出て戦うので、疊間しらみ潰<sup>は</sup>ぶしに軒並み武器を取り上げる。抵抗する奴は射<sup>レ</sup>うち殺して屋探しする。猶予すると隠匿するので、多兵力で急襲しなければならぬ。

今のおうに仏、米、ソなどのように各國から武  
器搬入してやリ、近隣から資金を貸与していこ、  
「けんか止めろ」などと叫んで見たところで何の効

果があろうか。武器や資金を貸す夜には、政治的取「ゆるすべきではないと思ふ」とでも言わねばなら  
引發言権などを狙う塊體があるからだ。レバノンがぬだらうが、訪米してすぐそついう言い方は出来な  
消えてなくならうが、吾々にとつて何等さしさわりかろうし、おずかしいものである。  
があるわけではないが、どう考えたつて、だらしの 銀舌家も時に「舌足らず」、重口家も時に「言  
ない話ではないか。 (了) 系音 過ぎ」がある。こわいものさ。

系音

思議に思えた。

## 舌たらずと言ひ過ぎ

### 南伯俳句行脚記

前山南嶺

○ある男、相人を訪れ、金の無心をした。知人の家  
に三毛の小猫の居るを抱き上げ、「よう肥えて美し  
い猫やなあ。おしゃいもん食べさせんやろな」。  
「こいつ醜陋な奴でなあ、ペイシエとカルネより食  
えへんねん」「へエー。け、こうな、身分だんな。  
あやかりたいもんや」、金の無心に来たのだから、  
お世辞のつもりもあつたろうが、ちよつと言ひすぎ  
でないか。

○「ときに例の話やが」「例の話」というと?」  
人指しゆびと親ゆびで輪を作つて(ブラジルではタ  
ブー)「これでんがな」「金か?」「四、五日前た  
のましやろ?」「おれ、知らんでえ」「あれ、金雀氏の宅。一応挨拶をすまし、ホテルで旅費を解  
・そんなむぢやな」

片方は偽りようとしており、一方は知らぬといつ  
どつか歯車が噛み合つてしない感じ。

去る十月三十一日、皇居で、両陛下と五十人の新  
聞記者のインタービューがあつた。

宇佐美宮内長官の言葉によると、天皇は会話がお  
上手でないため「意あつて舌足らず」のようだ。

天皇は質問の答弁をなさるのに不慣れで、お考え  
を充分お述べになれたかたきらがあり、たとえば、広島原爆投下について「戦争中のことなので、  
広島市民には氣の毒なことであろうが止むを得なかつ  
た」又「太平洋戦争について天皇は戦争責者をお認  
めになつたと解釈してよろしいでしようか」という  
質問に対して天皇は「そういう言葉のあやについて  
は、私しは文学方面の研究をしていないので、お答  
えできかねます」と、はつきりした答えは避けられ  
た。

日本の当時の政治は諸君の御存知の通りである。  
私が責任をとるとか、どちらとか云う議論は今更考  
えられないことだ」とおっしゃつてもよいと思うが  
、まあ、あぶない處で、即答を避けられたからまい  
ようなもの、誘導的な質問にはひつかかりやすく  
、記者などと言ふ先生方は、あぶなくつて仕方がな  
い。天皇の原爆のお咎に「戦争だつたから仕方かな  
い」には、原爆協が硬論を持して反論している。割  
つて言えば「仕方がなかつたですむか」である。  
「まことに遺憾であつた」と答えても不満だらう。

知友各位様

移転御挨拶

一九七五年十一月十七日

たします。

末筆ながら皆様の御繁栄と御健康をおいのり、  
がら紙上にて移転御挨拶申上げます。

出立にあたりましては、バストス婦人会の方々  
より御丁重な送別会を催し下され、或いは心温  
ただき甚した処、この度びカリア市の息、輝敏の  
まる御饅頭を賜わり、まことにありがたく、厚  
く御礼申上げます。

一々御挨拶に上る可きですが、馴染申不本意な  
たします。

稿本よし枝

(二)

例の新聞紙上の報道で知れわたつて、出水のあ  
った公園を通る。此辺の出水では家の軒まで水びた  
になつたとのことであるが、このような場所にそ  
んな大量の水がどうして集つたのかと、ちよつと不  
思議に思えた。

正に念願先生の行く先きに至る处青山在り、でなく、至る處好意在りて、先生の人格と、各地の國体の人達がこの様な世話をして下さるのには頭の下がる思ひ。自分達も人様がバストスを訪ねて来られた場合には自身を指しますこのようにお世話をねばならぬと感を深くする。

扱て、食事がすむや、即時投句、清書と忙しい、目か廻わるようだ。南天子兄とは、けまし合つて頑張る。旅に馴れない南天子兄は大分疲れて参つていろようだ。当夜は先生も強引切つておられて、「うむーーだいぶん佳い句が出でいるな」と独語されこいる。その通り、

○○花冷えや 热き茶を欲る旅の人

○○山バルマ鞍きしみゆくカルゲイロ

三千代

○○千人の客をまかなう 大夏炉

涼仙

○○鳥糞附つ船のへさきと云う岩に  
春野行くチバジ支流を四つ越え

峰春

○○花桐の並木出水の引きし町

南しイ

○○大串の焼肉太レマラクジヤ酒

すえ子

○○岩露草土人の部落の岩壁に

峰春

○○マウア道並木の少なき春樹しむ

偶居

此のような佳作、沢山出た。勿論先生の逸句である。

私の句を考えてみると、喪れな存在、しかし力量不足だからいたしかがない。しかし句友たちはみな

親切で頗らかだ。一寸したことで祝福してくれるが、それが楽しいものだ。スポーツをやつた私は國體行動を知つてゐるが、俳句も正に一つの文芸スポーツであり、先生曰く、峰春氏并で、マイクを通じ、先生曰く、まるでパパカイオのように、バラナ松を本格的に見ることが出来るのは、むしろ

サンタカタリーナに入つてからである。と語尾に力を入れて、俳句では他州であつても、やはりバラナ松と呼んで良い。と放送する。

今日は吾親友南天子兄に待望の一一番うれしい日だ、それは息子と孫さんにラーシエスで面会する、一とり、サンタカタリーナのマフラという町、橋を渡つてある。さすがの南天子兄も黙りつこくなつて考えに沈んでしる様子、無理からぬことだ。長い時間を走り、そのうち一寸少くながらソリンボ半打大きな橋がある。大きな河で景色もよい。先生ストに止まる。交渉の末、此處で昼食をするこにな此處では場所を借りるだけで、今朝クリチーる・間もなく発車して車は客赦なくどんどんとラーバ市婦人会の好意でお弁当無料奉はである。又此のジエスに向つて走る。また雨が降り出した。霖雨に食事を弁当にして届けて下さつた。ちよつと並通の黄色い花が田のさめるよう咲いてゐる。此の州で人には出来ない、とだ。たいていの人なら、今日は帰るのだから、よいではないか、と云つて帰すのが

## 御案内

# 新宮良範師

總監禪師久々ぶりの御来植です。

## 御去話

日時 十一月三十日 夜ヒ時半

## 場所 バストス南米本願寺

どなた様も御来聴下さいますよう御案内申しあげます。

主催 バストス曹洞宗世話人

普通の社交の通り相場のように思われる。その御厚食を作らしても間に合う設備はなしと見てとつた。昼食後あつかましく隣席のスラグ系美人に乞うて文して呑む。店の人達も親切である。三十三人の昼食を作らしても間に合う設備はなしと見てとつた。昼夜を撮る。案外素直な婦人で、わざわざ二階から峰に来て、バラの花が幾重にも咲いており、その情景を、

車はいよいよ第二の州境に達する。リオネグロを

夜の句会でも入送したが、私もこの句は誰でも曰

に行く情景を見事に省略してゐると思った。

車はいよいよ第二の州境に達する。リオネグロを

長い時間走り、そのうち一寸少くながらソリンボ半打大きな橋がある。大きな河で景色もよい。先生

39º Competição Intercolonial SÃO PAULO  
DIA 2-3/8/1975

## 連合青年団陸上部寄附金

|        |            |         |
|--------|------------|---------|
| Senhor | Sul Brasil | 1 00,00 |
| .      | Cascata    | 500,00  |
| .      | Bonfim     | 200,00  |
| .      | Falfura    | 150,00  |
| .      | Gloria I   | 300,00  |
| .      | Alto       | 100,00  |
| .      | Centro     | 500,00  |
| .      | Gloria II  | 300,00  |
| .      | Cotia      | 380,00  |
| .      | União I    | 50,00   |
| .      | Av. Cola   | 135,00  |
| .      | Espelança  | 100,00  |
| .      | União II   | 200,00  |
|        | Total      | 3015,00 |

## ブラジルに最初の足跡を印した人たち

故 鈴木南樹翁の遺著から

41

よい匂が浮かぶない素人の悲しさ、バスは凄くひどい坂を登り登りあえいでいる。下方を見ると、霧の中にはるか渓谷がかすんで見える。箱根の関所よりも高いようだ。追剥でも出そうだなど、前の座席に

居る大熊星子氏が云う。本当だけと、心安く合挽を打つ・バスはどんどん下り下り平地に出る。ラーゼスに近付いたのだろう。急に松林が見え出した。バラナの植林より数倍大きい。ラーゼスの町には、遙う。金を儲けるものは山県でなくとも、沢山人が南天子児の息子の徽君が町の製紙工場に住んでいるのである。町に入る前、バスは後尾より放水して、軽くなつてラーゼスの町に突入する。南天子の息子身の子孫と云うのではなく、日本人編成での子孫のさんの徽君がホテルの前で待つてゐる。思わず、よことである。山ひどかに大西郷を理想する彼に「子かたねえ」と祝福したのは、私だけではない。親孫のために美田を賣わざし位いのことは百も承知での気持はみな親同志に通じるからだ。

徽君の世話を、ラーゼスホテルに泊ることになつた。一流のホテルであるから、夕食付で百コント金なり、それを三割四分も引いて貰つたとの事・古雪さんの外交と徽君のお世話を感謝する。此の町に入りました。山県は、口癖のように、「俺は金を儲けるために仕事をしていふと間違う。金を儲けるものは山県でなくとも、沢山人が山県のためになつてゐるのだから」

と云つた。この子孫のためにと云うのは、山県自らが、文字に貧しい彼の一ことである。何時の間にか「子孫のために」と云う癖がついてしまつたのであるが、山県は、口癖のように、「俺は金を儲けるためにと云うのは、山県でなくとも、沢山人が山県のためになつてゐるのだから」

しかし、これ程執着したイ・ビランガの農園は、石橋の云う如く金のない山県に維持されるわけがなかつた。地主のオスカル・マッセード、ソアレスは、ホーテルの中は全部越野を敷きつめてあり、どこを歩つた。或日山県と別れて、サンタ・クルスに米作をしていある石橋を呼んだ。

「山県はイ・ビランガ農場を俺に返すらしいが、どう

当市ラーゼスの人口は十五で郡内全部で十四万人だ一つ、お前が引受けで經營して興打いか?」  
決して小さい町ではない。サンパウロ州のマリリア位であるが、可成り高い建築物が多く見える。大と云うよりは、地主の身になつてみれば、何時までした構えである。ただそれだけではない。三十三人も金を払わないで弱張つて動かないのが贅であった。一行は、時間があるので、町を見物に歩く。此の地の女性はたいへん美しいと云うこと、肌も綺麗思うが、牧畜をする氣なら引き受けてもよいと音で、しわゆる小麥色である。背丈の高い女が多い。  
先生と二人で横になつて歩いていると、

「オー・ジャボネース」にっこり声がかかつてさだ。先生と二人で横になつて歩いてると、

づづく

から農園の引渡しを受けた。それは石橋が山県から

二十四時間を喰つてからまた一年後であった。

皮肉が光景であるとしててよい。

(十四)

山県カマカヒ郡に古い珈琲園の作り荒した農場と  
、カーボ、フイリオのモソロヘイガサバ、グランデ  
駅）に塙田を買つたのは、清七郎が大いに儲けこ送

北海道の鮭漁の味が忘れられず、日本からわざわざ第二雲海丸に積載して漁船を送りした。それは八丁櫓か十丁櫓の可成り大きな船で、網も漁夫も日本からと、山県のことだから何も彼も純日本式でなければ気が入らなかつた。恐らくはねぢり鉢巻はさせなかつたろうが、あの油を流した様なカーボ、フリオの海上に、船頭も勇ましく、北海道さながらの漁船を浮べた。

の、日本と遠つた自然的特異性があり、魚にも幾分習性の相違がある。従つて彼の考へたような漁獲が得られなかつた。たまたま豊漁があると、値段がただの様に安かつた。

サナリヘ 塩田も赤字のつづく年が少くなかった。  
何年であつたか思ひ出せないが、塩の非常に下落した年がある。その折などコマス州にペテルナリヨをしている石塙恒四郎に、塙八万儀の世話をしてくれと云つてやつたこともあつた位である。

農場は何分りオ州の、一とてマカエ、リオ、ドーセ、アラルアマなど、あの辺一帯は古い珈琲の植立になつた農場が多く、サウバ戻の横行に任かせて居る土地である。そんなことを知る筈もない山県は只地面が広いことと、彼以外にはノン、エンテンテ（呑み込めない）の一事、形勝の地を占めていると云風なことが主になつて買ったものであるから、インランが農場同様成績の上る訳がなかつた。

彼はリオ市のテシカを引き上げて、茲に移り心持ちだけは主公の如く傲然と構えて居た。しかし、それは只彼のはかない空想に生れるミーラの如きものであつた。

環海興移民部長坂元靖の一往（田中秀穂、江崎梅三の三人）が大正三年五月、日本から彼を頼つてマカガウの農場に行つた時の話を聞いたが、それは最もよく彼の人となりや面目を劈髪せしむるものがある。初対面の挨拶があり、夕食をたべると、山県は、「時にお前達の寝る所だ。茲には數が多いので、銘鑑名に蚊帳を渡すから、それを釣つて寝るかよい」と白い蚊帳を渡された。その小舎というのが、よき古い農園などに行くと見当る、不細工な太い柱に、白壁とは名ばかりの赤泥色の斑点を押してゐる時代ものである。しかし夜のこととて坂元等には何か何だかそんな光景が見える訳がない。彼等は日々々

日本語放送  
-アンデスの声-  
「サクラ サクラ の」  
メロディにはしまるラシ  
短波19メートルと25メートル  
  
(番組)  
NHK時事ニュース・音楽  
民謡・童謡・講演会  
——○——  
バストス  
福音ホーリネス教会

FABRICA DE GRANITO  
Av. Rio Branco s/n C.Post. 23 Fone 515  
ADAMANTINA E.S.P.

日本式及ブラジル式  
墓 碑 記 念 碑  
胸 石 像 石 燈 龍  
石 白 もち 白  
石材美術彫刻類の一切 製 作  
古い墓の修理もいたします

アダマンチーナリオブランコ大通り、  
大西石碑工場

郵函二十三番  
電話五一五番

FABRICA DE GRAN  
Av. Rio Branco s/n C.Post. 23 Fone  
ADAMANTINA E.S.

胸 石 像 石 燈 龍 墓  
石 白 も ち 白 破 言 急 破  
石材美術彫刻類の一切 製 作  
古い墓の修理もいたします  
アダマンチーナリオブランコ大通り、  
**大西石碑工場**

郭函二十三番  
電話五二一五番

「おい坂元、ブラジルの蚊は馬鹿に痛いね」  
一と眠りすると何だか頭に落ちてくるものがある。  
うくりと剥す・蚊にしては妙に痛い。払い除けると  
また落ちてくる。月夜と見えて月光が青白く窓の隙  
間から縞になつて差し込んで来る。蟋蟀か虫の鳴  
しきりに鳴っている。

「うム、如何にも大陸的だ」  
坂元の言葉がまだ終りもしない内に、江崎は、  
「眠られやしない」  
とつぶやいて猿返りを打つた。それから三人は、  
まんじりともすることが出来ず、いわゆる大陸豹な  
如と戦かねばならなかつた。

愈々夜が明けてみると、これは驚くべし、小屋の大井は蜘蛛の網の交叉と、日本の足長蜂の櫛か蜂の巣で一杯に埋められていた。

三人は苦笑しつつ、丸だらけの敗帳を見守った。  
やがて顔も流うい、トマカフエーの机に座つて、  
山県は、

「どうだ、昨夜は蚊が居つたかね」と、けろりとし  
いろいろ彼の唇には、真石にくすぐつたい様なひびき

があつた。

(十五)

カフエーが終ると山県は、

「おい、お前達は今俺と一緒にマンデヨカ掘りに行んだ」と云つた。例の牛車を仕立てて、山県をはじめ坂元の三人が飛び乗つた。六頭の牛を繋いでいるのも面白じが、あの原始的な木をくつた車輪が廻転するたびに、キーキーと立てる聲音が工キジチクな興をそそつた。しかし、牛の歩調は少しでも純合になると例のヘロンで牛の尻を突いた。牛が驚いて走りだすと、車はごとん、ごとんと、悪い道の二、三度あるから、たまには石ころや、木の根などの上に三十度位の傾斜の波を打つことがある。三人は命とがけで車の擗木にしがみつかねばならなかつた。さうして淡黄色した大きな果物が、袋のよう

の度に山県は、

「どうだ、ブラジルの牛車は面白かろう。痛快々々崩るる様な笑いだつた。牛車が小川の所に来ると止まつた。そこには緑色の濃い廣葉をつけた樹があつた。そして淡黄色した大きな果物が、袋のよう

にぶつきがつこじる。一而も幹に、

「おい、誰か登つてあれを取つて來い。」

山県け叫んだ。それはフランスシニヨ(華裔)な

体格の、河崎や田中の出来る差がなかつた。しかな

なく坂本は山県の命令通り、靴を脱ぎはいたまま

力コとならなければならなかつた。坂本は殆んど決

死の覚悟で勇敢に?、その実汁だくだくで、解く一

個の果物を採ることに成功した。山県は腰からフア

コン(大刀)を抜いて、その果物を輪切りにした。

「どうだ、これはジャカ力と言う果物だ、貰えて置け

といつて、その一と切れをアッコンに刺したままで

坂元の眼の前に出した。坂本は苦い顔をしてフック

ンかう抜いて口に入れた。

「うまかろう。皆大しに食え、食え」と云つたが、田中も河崎も一と口したきりで參つてもまつた。妙なジャカの香に堪えられなかつたのである。坂元は漸やく眼をつぶつて、僅かに一切れを食うことができた。

「うん、坂元はどうやらブラジルに及第するらしい」とつぶやいたという。山口のやりくちは萬事此の調子である。いわゆる他人の眞似ようとして眞似られない山県式なるもの、即ちこれである。

農場内に前主人から譲り受けたとも云うべき黒人がいた。何でも奴隸時代には、親分格であったと云うことがある。口ベルトは頗る善人であったが、奴隸をしていただけに、頭も行動も鈍い。そこで山県は口癖のように、

「ラジル人を使うには、ジャ、ジャと云うに限る」と云つて、会話の尻に屹度じゆつけた。ジャは多少日本的な発音があることも、彼をよろこばした

ものうしい。こうしうふうに独り合店で、ブラジル語の解りない彼と口ベルトの会話は、一種独特のものがあつた。たとえば、

山「オー、口ベルト、オジ、エスタン、カルタガーテン?」「だから、ボーデ、オー、ノン。」

口「ボッソ、メウ、バトロン」

山「エントン、カバウ、フデ、バイ、バイ」

といつた風である。勿論例のジャ、ジャはこの場

合にも屹度對き物である。口ベルトは山県が僕令ど

うと例のヘロンで牛の尻を突いた。牛が驚いて走

のような、訳のわからぬ日伯混合の会話をしても

よく勘で聞きわけた。

山県は時々従順とのものの、ような口ベルトのこ

がけで車の擗木にしがみつかねばならなかつた。

山県は時々従順とのものの、ような口ベルトのこ

## 本田種子さんのお葬式

バストス華道並ひにブラジルいけ花界への功

労者として旧嵯峨御所華道總裁より

目代位贈与される

去る十一月十四日、日本の神戸市と、当國クリチバ市とが姉妹都市として結婚されるに當り、神戸崖城流司所長吉田多年内先生(婦人)以下六名の文流華道家が市長のメセセージ携行代理として、又クリチバ市でいけ花を以て日本を紹介の任務を帯びて來伯され、翌十五日聖市に於いて、重道千代南師範をはじめ小野信子さん、湯井光子さん、並びにフランシアンタ街のグランデ、ホテルの大サロンに於いて嵯峨流テモノストラソンを六名の女流華道家が豪華な開催にて日本着姿で菊花の御紋章の黄金色に輝く抹茶碗にて列席者一同へ薄茶と御所特製の菓子のものこれから、いけ花実演への、さながら絵巻を繰り展げるよう公開され、総領事御夫婦とはじめ、知名の日伯貴賓、各流華道の支部長等観客一同から拍手珍らしい催しもあつた。バストスからは不肖宮武と

加贈られた。

石橋綾子さんが参加した。その席上ではからすも、バストスの本田たね子師へ嵯峨御所より「目代位」の許状が贈与されることになったが、本田さんは先日聖市在住の実姉・岡田八重子さんの急逝のため、出席しておられたなかつたか、もし列席して居られたならば、総額半の手から本田さん授与された筈であるが、出席出来なかつた本田さんに代つて、私が代理として持受して持ち帰り、翌十六日、私から本田さんへお渡した。

ちよふこタヨ代」という位は辞典で引いてみても判るよう、昔は國守代理としての権力を、朝廷の外に嵯峨御所より許されたものであり、徳川時代では小大名などは目代の前では土下座したなどの格式あるものである。

ともあれ本田さんは、いけ花では宮武縣南最古の門下生であり、長年バストス華道のために尽した功少なからずとしこ、今回特別に贈られたものである。

本田たね子さん、おめでとうございます。

#### 勝南記

名作映画鑑賞のしおり(芸術祭参加作品)

東宝作品

亡

御

サン

ガ

ル

カ

ン

ハ

番

娼

館

2

十二月七日(日)八日(月)シネバストスにて毎日上映

朋子は老婆と四方山の話の末、老婆の帰る村へ用事からといつわつて、老婆の村へ同道した。崎津の町を出でから三十分ばかりして二百メートルほどの山の麓にへばりついたような恰好で三十軒ばかりの人家が建ちならんでいる部落に入つた。

老婆が朋子に、

「ひどか家じやが、寄つて行くかね?」と言つた。朋子は寄らせてもらうことにした。「ひどか家じやが」「一」と念を押されていたものの、一体これが人間の早う横んなつて、いっときどんじつとるがよか。住む家であろうか。葦葺屋根には草が生え茂り、昔話の鬼婆々の宿のようだ。崩れた荒壁、天井からは煤紐が下がり、換気障子もあつかた貴ばかり。座敷の置は完全に腐り切つて、上ると足が沈み、湿気が足裏に残る。すすのられて坐つていろいろ朋子の膝へ何匹もの百足が這いよつてくる。

中年の農婦二人が入つて来て都會風の朋子に詫問する眼を向けて帰りそうもないとみて老婆は朋子に意味ありげな一瞥をくれて、

「こりやなア、せがれのユージの嫁ごじやが」と又、「わしらと同じで字を書くことがだめでな、手紙一本まこさんで、出しぬけに来ておとかしおる。ふたりの子は遠かけん向うに置いて来たとトばつて、今夜は泊らんと帰るとよ」と言つてのけた。朋子もおサキ婆さんの口に合せて「いつもお母さんか

農村土地売買に就いて

最近新し法令により農村の土地を売る場合には「フソルラール」税金完納証明書が必要となつてまいりました。

証明書はツパンの当事務所にて発行しております。

此の書類を申告する場合は、一九七一年から現在までのノッタ・プロツットールを明確に調査し、所得税の申告と照し合せ、完全に納入して、はじめて許可が下ります。農村税金が今のようになつてありますと、出来得る限り完全にして正確な帳簿を作り、所得税を申告することが必要となつて参りました。

以上により、今後皆様の御注意をお願申上げます

## 右川法律事務所

お世話をなりまして……」挨拶するはめになつた。

朋子がはげしい疲労をしていろとみておき婆さんは「くたびれたときにや、横くなるとが一番よかと、うちもくたびれたけん、一緒に横んなろけん——」おさきさんは朋子を自身の嫁といつて、村人に紹介して肩身のなじいをした。

「うちのところには、うまかもんは何もなかで、」朋子がはげしい疲労をしていろとみておき婆さんは「うらのところには、うまかもんは何もなかで、」これおきさんは、何の御縁か知らんが、都會者だといふとに、上つて寝たままでしてくだつした。朋子は再会を約して辞去の挨拶をすると、おサキさんは改まつた口調で、「村の家の戸できえこげんか汚なか家だけん、上がりはなに腰は掛けこも、よう上つて坐らやせん。それを奥さんは、何の御縁か知らんが、都會者だといふとに、上つて寝たままでしてくだつした。セガレのユージも来て一晩泊るだけで、戴こは手紙一本くれんものを……。うちは、死ぬまで奥さんを忘れはせんばい」と、はうはう涙を流した。

ペテラン講師。ハワイ西会長

DONALD SHIRO

SHIMOKO

簡単に誰でも何処でも直ぐに役立つ

# 西式健康法とその実演

余談 ハワイのよもやま話

日時 || 来る十一月二十七日午後八時

場所 || バストス日伯文化協会綜合会館

ブラジル日本文化協会  
サンパウロ日伯援護協会  
ブラジル老人クラブ連合会  
ブ ラ ジ 尔 西 会

バストス日伯文化協会  
在バストス西会支部

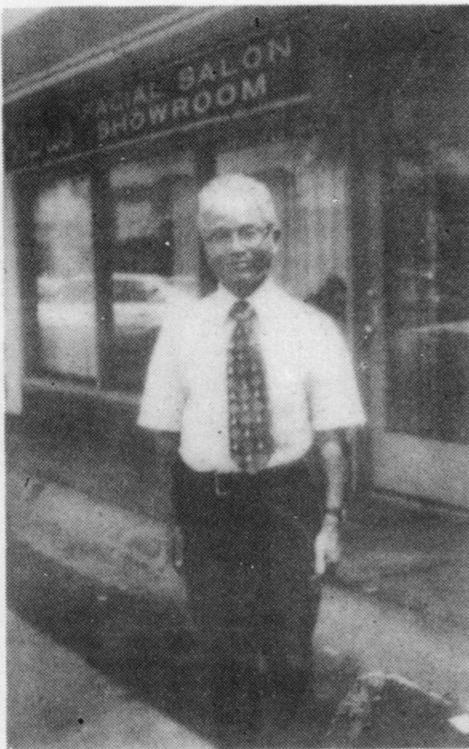
ハワイ西会々長ペテラン指導者ドナルド下甲至郎先生の  
リ西式健康法とその実演に就いて

此の度び標記の如く、ハワイ在住の、下甲至郎先生が当地コロニアの皆さんに多少なりとも役立つ、この健康法の普及のため、多額の渡伯費を自辨し、且つ一ヶ月の長期に亘って、成るべく奥地の医薬に恵まれぬ地方の人々のため、巡回に役立たせて頂き度いという心温まる申し出を受けましたので、コロニアのため、願つても得られない欣<sup>ハ</sup>ぶべきことと存する次第であります。

就きましては、この御厚意に万全を期し度いと思ひますので、どうぞ何分の御協力方懇願申しあげます。

全氏は、ハワイ在住三十有余年名実共に成功せられ、これから余生を、青年時代病苦に悩やされたのを、西勝造先生の健康法に依つて救われた報恩のため、この道の普及に挺身しき、ハワイではテレビにこしばしば出演して居る由であります。理論家と云うよりも実践家<sup>アスレチック</sup>で、年輩よりもズット若々しく、ハワイ西会長・モラルジーハワイ研究会長の要職をも兼ねて居ります。





ベテラン講師  
ハワイ西会長 DONALD SHIRO SHIMOKO

簡単に誰でも何処でも  
直ぐに役立つ

## 西式健康法とその実演 余談 ハワイのよもやま話

日 時： 11月27日 午後 8時  
場 所： バストス文協会館

来 聴 歓 迎

共 催  
ブラジル日本文化協会  
サンパウロ日伯援護協会  
ブラジル老人クラブ連合会  
ブ ラ ジ ル 西 会